

## 2021/09/26 中国語作文の会 第46回

次の日本語を中国語に直しなさい。

問題1：日本の国語のテストには「登場人物の気持ち」を問う問題がよく出題される。これに対して学生は口を揃えて「登場人物の気持ちなんて本人か、それを書いた作者にしかわからないじゃないか」と真っ向から反抗する。しかし、本来学校教育が国語の授業で育みたいのは「人の気持ちを理解すること」ではないのだ。教科書や問題用紙の本文に散りばめられた多くの“ヒント”を手がかりに、“論理的”に“推測”される“妥当な”解答を自分の言葉で書き表す能力、これこそが学校教育が育てたいものである。この、問題作成者と学生側で見ているものが違う原因は、国語という教科が持つ本質を、教師がきちんと学生に伝えていないことであると思うのだ。

中国語

**【解答】**：在日本的国語考試中，經常會出現有關“登場人物的心情”的問題。對此，學生異口同聲地反駁道，“登場人物的心情不是只有本人或者寫了這篇文章的作者才知道嗎？”。但是，學校教育想在國語課上培養的原本並不是“理解人的心情”這個能力。以散落在教科書和試卷正文中的許多“提示”為線索，用自己的語言表達“有邏輯性”地（、）被“推測”出的“妥當”（的）解答的能力，這才是學校教育想培養（出來）的。我認為這個出題者和學生所看的东西不同的原因是，老師沒有把國語這門學科的本質好好地傳達給學生。

・登場人物の気持ちを問う問題：有關“登場人物的心情”的問題

※「問う」を「問」と訳すとき「問學生有關“登場人物的心情”的問題」のほうが自然ですが、長くなってしまいます。

・口を揃えて：異口同聲地

・～は～にしかわからない：只有～才知道/明白～

・真っ向から反抗する：（全力）反駁

・育む：培養

・人の気持ちを理解すること：理解人的心情（的能力）

・教科書や問題用紙の本文に散りばめられた～：散落在教科書 and 試卷正文中的～

・“ヒント”を手がかりに、“論理的”に“推測”される“妥当な”解答：“有邏輯性”地（、）被“推測”出的“妥當”（的）解答

・問題作成者：出題者

・～を教師がきちんと學生に伝えていない：老師沒有/能把～好好地傳達給學生。

問題2：たい焼きは、中に餡が入っている小麦粉が主体の日本を代表する和菓子である。たい焼きの創始者は、元々は今川焼きを始めていたようだ。しかし一向に売れず、亀の形の亀焼きも失敗してしまった。そこで鯛の姿にしたところ、飛ぶように売れたらしい。なぜ鯛型にしたかについては、鯛は“めでたい”で縁起物につながるが、ほんものの鯛は庶民の口になかなか入らない高級品であったため、それを模したところ庶民受けが良く大成功をおさめたようだ。

\*たい焼き＝「鯛魚焼」、今川焼き＝「今川焼」、亀焼き＝「亀焼」で構いません。

(または日本語でも結構です。)

\*『鯛は“めでたい”で縁起物につながる』の部分の“めでたい”は次の順番に翻訳してください。

→「該当する中国語（めでたい）」

中国語

**【解答】**：鯛魚焼是一种里面有馅的以小麦粉为主要材料的日本的有代表性的点心。鯛魚焼的创始人据说原本是卖今川烧的。但是完全卖不出去，乌龟形状的龟烧也失败了。于是，把它换成了鯛魚的形状，结果卖得飞快。至于为什么要做成鯛魚型，鯛魚因为“喜庆（めでたい）”与吉祥物关联，但是真正的鯛魚是老百姓难以入手的高级品，所以模仿鯛魚的形状得到了老百姓的好评，大获成功。

- ・中に餡が入っている小麦粉が主体の日本を代表する和菓子：里面有馅的以小麦粉为主要材料的日本的有代表性的点心/日本的一种以小麦粉为主要材料、有内馅的具有代表性的点心
  - ・元々は～を始めていた（今回は売るという行為）：原本是卖～的
  - ・一向に売れない：卖不出去/卖不动
  - ・飛ぶように売れる：卖得飞快/供不应求
  - ・鯛は“めでたい”で縁起物につながる：鯛魚因为“喜庆（めでたい）”与吉祥物关联/鯛魚因为“喜庆（めでたい）”被视为吉祥物
  - ・庶民の口になかなか入らない高級品：老百姓难以入手的高级品/老百姓难以吃到的高级品
- ※「难以入口」はまずくてとても食べられないという意味です。
- ・～を模す：模仿～
  - ・庶民受けが良く：得到老百姓的好评/受老百姓的欢迎
  - ・大成功をおさめた：大获成功/获得了巨大的成功

<メモ>